

# きょうたなべ のうぎょう委員会だよ!



# 大地の恵み お届け!

## 先輩農家に支えられ、田辺ナスを収穫

今年、市南部の江津地区で、つやつや紫色に輝く田辺ナスが新たに顔を並べた。藤澤さんは、一般企業へ就職するも地元でやりがいのある仕事に就きたいという思いから退職。市特産である田辺ナスの担い手を育てる「田辺ナス農家養成塾」で1年間、指導農家の元で1年間の長い研修を終えました。その実力が認められ、現在は約

40アールの農地を借りて耕作しています。「ほ場に出ていると、体の毒が抜けていくようです」と笑顔で話す藤澤さん。生活が不規則だった仕事から農業へ転向し、体重はすでに10キロ以上やせたという。先輩農家に支えられながら、耕作面積や栽培品種を増やすため、日々作物と語り合う藤澤さんは、充実感であふれていました。



新規就農し専業農家になった  
藤澤智行さん (31)



2p 土とふれあう田んぼの学校教室／米粉レシピ③ 3p 農業委員会って?／全国農業新聞／農業者年金 4p 「村」三山木地区／プレゼントクイズ／編集後記

# 繋

—つなぐ—

「土とふれあう田んぼの学校教室」

普賢寺小学校では、自主活動の一環としてもち米作りの実習活動を行っています。



普賢寺

「土とふれあう田んぼの学校教室」は、昔ながらの手法で子どもたちに種まきから10月の収穫まで、水稻（すいとう）栽培の体験をしてもらう活動です。

小学校5年生が、普賢寺幼稚園の園児と一緒に育てています。実習活動であると同時に、幼・小連携学習とすることで子どもたちの成長に繋げるという役割もあります。

収穫したもち米は、幼稚園で行う餅つき大会や赤飯・かき餅などを作る調理実習に使います。また、障害者の共同作業所にも顔を出し、「善意の心モチ」として子どもたちの手でプレゼントしています。

約15年前に地元農家が提供した約5アール（500㎡）の農地と、地域の温かい支援が今日までこの恒例活動を支えています。この繋がりを、しっかりと次の世代にも伝えていきたいと思います。（大富敏一）



大富敏一氏

普賢寺土地改良区理事長。普賢寺小学校で、社会人講師として農業指導等も行っている。

## 第3回

使おう! 食べよう!  
米粉レシピ

### もちもちの 米粉たこ焼き

今回は、小麦アレルギーの方でも食べられる、米粉のたこ焼きを紹介します。作り方は小麦粉とほぼ同じ。生地はたっぷりの方が作りやすいですよ。（木村委員）



#### 材料

米粉	100g	たこ足	150g	★ お好み焼きソース ★ マヨネーズ ★ 青のり ★ かつおぶし
サラダ油	適量	★ 木酢	適量	
		★ 紅ショウガ	適量	
		★ 揚げ玉	適量	
卵	1個			
★ だし汁	300ml			
★ 醤油	大さじ1/2	※小麦アレルギーの方は		
★ 塩	少々	揚げ玉を除く		



#### 作り方

- ① ☆をボウルで混ぜる
- ② 別のボウルに米粉を入れ、☆を注ぎながら混ぜる
- ③ 強火のたこ焼き器に油を引き、②を注ぐ



- ④ ☆を加え、生地をたっぷりと追加する
- ⑤ はみ出した生地を穴に折り込みながら、転がして焼き色を付ける
- ⑥ お皿に盛り、☆をかけたらできあがり!

**ENV** ③の生地は穴の7割くらいまでにしておく

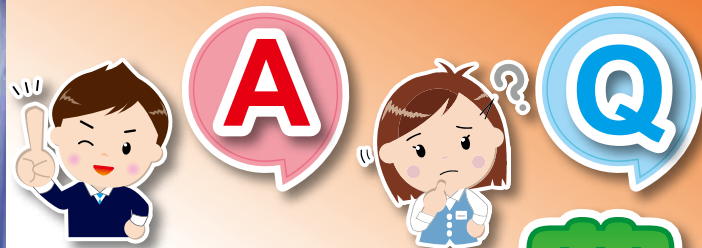


毎月1回、27名全員が集まって、農地の権利移動などを審議します。



## Q1 農業委員会総会

開会のあいさつをする林会長



# 農業委員会

## 何してんの？

農地の売買や転用を審議したり、  
農地が荒れないように指導したり、  
京田辺の農業のよさをPRしたり、  
未来の特産品をつくらうとしてみたり  
etc etc...

とにかくいろいろ  
やっています！

Q1 総会って、何してるの？

A 農地の売買や貸し借りなどを審議しています。売買などが勝手にできてしまうと、農地が管理できずに荒れてしまう可能性があります。そのため毎月農業委員27名が集まり、近隣や地域の農業に影響が出ないかを一筆一筆審議してから許可を出しています。

Q2 農業委員は、普段どんな活動をしているの？

A 農業委員は、申請や連絡のあった農地だけでなく、地域の農地を日々チェックしています。そのため、荒れ始めた農地が周囲の迷惑になる前に所有者へ声をかけたり、農地の貸し手を探す手伝いをしたり、地域農業の相談役としての役割を担っています。

Q3 農地のイベントばかりしてるの？



## Q3 京田辺市産業祭

A 農業委員会では、「儲かる農業」をスローガンに、京田辺市産業祭での地元米のPR、未来の特産品を生み出すレモン・ジャバラプロジェクトなど、農家でない人たちにも農業へ関心を持ってもらうための活動を積極的にを行っています。プロジェクトに参加してもらって「レモンサポーター」の登録希望も随時受けて付けています。ぜひ一緒に未来の特産品を作りましょう！

Q2

## 農地パトロール



# 全国農業新聞



家族・非農家も  
楽しめる新聞です。

全国農業新聞は、農業の最新情報を提供。農業全般の情報や地域の明るい話題なども紹介し、ご家族や非農家も楽しめます。

■毎週金曜日発行 ■B3版8頁  
10ページ ■月額700円(送料、消費税込) ■購読のお申し込みは、農業委員会事務局へ ■発行所：全国農業会議所

豊かな老後生活のために  
加入しませんか **農業者年金**

国民年金に上乗せする公的な年金制度です

1. 農業者なら広く加入できる
2. 積立方式・確定拠出型で安定した年金財政
3. 保険料の国庫補助
4. 保険料は2万円から自由に選択可能
5. 税制面で大きな優遇
6. 80歳までの保証がついた終身年金

くわしくは農業委員会事務局まで





## 三山木地区



南山地区農業委員  
水山 定裕 委員

# 地産地消を進め地域の活性化へ

三山木地区は京田辺市の南部に位置し、11の行政区からできています。東は木津川と井手町、西は普賢寺地区に挟まれた田園地帯。また、地区内に同志社大学ができたことで、同志社住宅・同志社山手も含まれました。

地区名の由来は当初からあつた集落名から来ています。山本・山崎出垣内・南山（現在は行政区名）の「山」三つと、高木の「木」で三山木村でした。その後、南東部にあつた宮津村（江津・宮ノ口）と合併。昭和26年には「田辺町」へと町村合併し、平成9年に京田辺市となりました。

私が住む南山は農地が平地と山間に別れていて、水稲（すいとん）が主に作られています。山間部では、市を南北に通る山手幹線が開通にむけて工事を進めています（写真）。そのため、これまでで

いな形であつた農地も買収により分割されてしまったため、使いにくくなる農地も出てきます。今後の地域課題のひとつかと考えています。

地区内では、約10年前に地域の竹林を有効利用するため「竹遊会」という会を十数名で結成しました。定年退職者を筆頭に、借り受けた竹林に月2回程度集まって筒などを育てています。最近では女性部もでき、収穫だけでなく、ゆがいて売る加工品にも力を入れています。さらに、老人会の女性達を中心になって地元住民向けに農産物を販売することも始めました。地産地消により、自分の畑で取れた野菜を販売する側、地元産の野菜を安価で購入する側、両方から喜ばれています。このような事業が軌道に乗り、うまく次の時代へ引き継がれていくことを願っています。

農地の部分を切り取るように南北へ山手幹線がつくられていきます。(写真中央)

## 編集後記

広報アイデア委員長 堀江 幸和

京田辺市の農業を楽しくわかりやすく伝えるために、「京田辺農委だより」から現在の「きょうたなべ農業委員会だより」にリニューアルして、早4年が経ちました。今後も農業の発展と農地を守るため、よりよい紙面づくりを目指します。



農業委員会のジャケットを作りました。農業委員27名、さらなる情熱をもって京田辺市の農業・農地を守っていきます。

## プレゼントクイズ

地元の味がたっぷり!

# ヘルシーなべ野菜3名セットプレゼント



## 今号のクイズ

農業委員会の総会は毎月何回開かれていますか? **答え** 毎月〇回

〇に入るクイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・のうぎょう委員会だよりへのご意見・ご感想を書いて、メール・郵送・持参で応募してください。クイズの正解・当選者は、次号で発表します。

応募期限=平成27年12月18日(金)まで(当日消印有効)

発送予定時期=同27年1月頃

郵送先=農業委員会事務局

(〒610-0393(住所不要)、

☎: nougyo@kyotanabe.jp)

件名には「農業委員会クイズ」と記入してください。

前回の正解は

ジャバラでした!

●当選者.....  
M・Kさん M・Aさん T・Nさん  
D・Kさん K・Mさん